

製品名: CAF-1 p150 ウサギポリクローナル抗体**カタログ番号: APRab07838**

研究使用のみ

概要

| | |
|--------|--|
| 説明 | ウサギポリクローナル抗体 |
| 宿主 | うさぎ |
| 応用 | WB,ELISA |
| 反応性 | ヒト、マウス |
| 標識 | 非共役 |
| 修飾 | 未修正 |
| アイソタイプ | IgG |
| クローン性 | ポリクローナル |
| 形態 | 液体 |
| 濃度 | 1mg/ml |
| 保存 | アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。 |
| 輸送 | 氷袋 |
| バッファー | 50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。 |
| 精製 | アフィニティー精製 |

応用

| | |
|------|--------------------------------------|
| 希釈倍率 | WB 1:500-1:2000,ELISA 1:5000-1:20000 |
| 分子量 | 150kDa |

抗原情報

| | |
|--------------|---|
| 遺伝子名 | CHAF1A |
| 別名 | CHAF1A; CAF; CAF1P150; Chromatin assembly factor 1 subunit A; CAF-1 subunit A; Chromatin assembly factor I p150 subunit; CAF-I 150 kDa subunit; CAF-I p150; hp150 |
| 遺伝子 ID | 10036.0 |
| SwissProt ID | Q13111 |
| 免疫原 | CAF-1 p150 由来の合成ペプチド。アミノ酸範囲: 300-380 |

背景

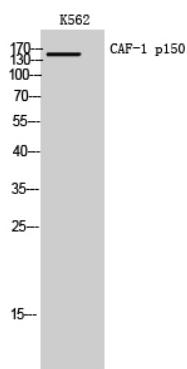
クロマチンアセンブリ因子 I (CAF1) は、p50、p60 (CHAF1B; MIM 601245)、および p150 (CHAF1A) サブユニットで構成される核複

合体であり、in vitro で複製 DNA 上にヒストンオクタマーを組み立てます (Kaufman et al., 1995 [PubMed 7600578])。[OMIM 提供、2008 年 3 月]。代替製品:一部のアイソフォームでは実験的確認が不足している可能性があります。発育段階:活性複合体は、G1 期、S 期、および G2 期に存在します。ドメイン:クロモシャドウドメインとの相互作用に必要な 1 つの Pro-Xaa-Val-Xaa-Leu (PxVxL) モチーフが含まれます。このモチーフには、クロモシャドウドメインに接する中央の Val の -7、-6、+4、および +5 残基が必要です。機能:CAF-1 複合体の中核成分。この複合体は、DNA 複製および DNA 修復におけるクロマチン組み立てを媒介すると考えられています。in vitro で複製中の DNA 上にヒストン八量体を組み立てます。CAF-1 は、ヌクレオソーム組み立てプロセスの最初のステップを実行し、新しく合成されたヒストン H3 および H4 を複製中の DNA に運びます。ヒストン H2A/H2B は、DNA 複製後にこのクロマチン前駆体に結合してヒストン八量体を完成させます。CHAF1A はヒストン H3 および H4 に結合します。これは、新しく合成された cbx タンパク質をヘテロクロマチン DNA 複製フォーカスに運ぶことで、増殖中の細胞におけるヘテロクロマチン維持に役割を果たしている可能性があります (類似性による)。CCR4-NOT 複合体は、一般的な転写調節複合体として機能します。また、ビタミン D 受容体 (VDR) によってリクルートされるクロマチンリモデリング複合体である WINAC 複合体との関連を介して、ビタミン D 共役転写制御にも関与しており、CYP27B1 遺伝子のリガンド結合型 VDR 媒介性転写抑制に必須である。PTM: DNA 損傷時に、おそらく ATM または ATR によってリン酸化される。配列注意: 汚染配列。位置 426 から始まる潜在的なポリ A 配列。配列注意: 翻訳 N 末端延長。類似性: CHAF1A ファミリーに属する。細胞内局在: DNA 複製巣。サブユニット: ホモ二量体。RBBP4、CHAF1B、および CHAF1A を含む CAF-1 複合体の一部。CHAF1A は CHAF1B に直接結合する。G1 期には、ごく少量の RBBP4 が CHAF1A および CHAF1B と複合体を形成する。CHAF1A、CHAF1B、CNOT1、CNOT2、CNOT3、CNOT4、CNOT6、および CNOT8 を含む CCR4-NOT コア複合体の一部です。CHAF1A は PCNA および CBX1 に直接結合します。MBD1 にも結合します。PxVxL モチーフを介して CBX5 と直接相互作用します。DNA 複製時には、S 期特異的な複合体を形成し、複製連動型クロマチンアセンブリにおける DNA メチル化およびヒストン H3 の Lys-9 メチル化を促進します。この複合体は少なくとも CHAF1A、MBD1、および SETDB1 から構成されます。WINAC 複合体の構成要素であり、少なくとも SMARCA2、SMARCA4、SMARCB1、SMARCC1、SMARCC2、SMARCD1、SMARCE1、ACTL6A、BAZ1B/WSTF、ARID1A、SUPT16H、CHAF1A、および TOP2B から構成されます。

研究分野

エピジェネティクスと核シグナル伝達

画像データ



CAF-1 p150 ポリクローナル抗体を用いた K562 細胞のウェスタンブロット解析。二次抗体は 1:20000 に希釈した。